

第4次淀江町総合計画と新市まちづくり計画（案）との関係

4次総合基本計画の中で新市まちづくり計画（案）に掲載しなかった主な事業

分類	事業名	事業概要	今後の対応	備考
水環境の保全対策	水生動植物の分布調査及び自然観察ハンドブックの作成	淀江地域を流れる諸河川にどのような水生動植物が分布しているのかを調査し、それらを再生していく取り組みを実施します。また、水生動植物の分布実態調査と他の自然調査項目をまとめ、『自然観察ハンドブック』を作成することにしています。	米子市では、小・中学生を対象にしたエコクラブが盛んに活動しており、それらの活動の一環としての取り組みを実施していきたいと考えています。	
緑の空間の創出施策	大規模緑道（佐奈咩通り）の検討	防災的な観点で、淀江駅周辺から町運動公園までの区間、延長約1.8km、幅員8.0mでの構想を検討しています。	新市の『災害に強いまちづくり計画』の見直しにあわせて、淀江地域、特に住宅密集地である淀江地区の一次避難地、避難路としての整備を検討していきます。	
快適な住宅や住環境の確保対策	淀江東地区土地区画整理事業	淀江東地区の土地区画整理事業については、約15年前に調査事業を実施してから休止状態となっており、再度地権者の意向確認などの調整作業を実施していくことにしています。	この地域での区画整理事業は困難であると考えており、都市計画道路3・5・2淀江環状線の整備を優先させ、土地開発公社等の活用で町営住宅の建替え用地を確保することにしています。	
道路、橋梁の整備	淀江漁港関連道路整備事業	平成9年3月に策定した淀江地区新マリノーション拠点交流促進総合整備（ふれあい整備）計画書で位置づけている道路整備で、一般国道9号と淀江漁協を機能的にアクセスするための計画です。	この計画は、現在、御台場公園西側までの整備で停止状態となっています。今後も、県の財政事情が好転しない限り進捗する可能性はないことから、別な手法を検討しなければなりません。	
高齢者福祉対策 障害者福祉対策 健康づくり対策	保健福祉センター建設の検討	『町保健と福祉の里基本構想』に基づき、淀江駅東側で計画している各種保健、福祉に関する施設整備の一環として、健康づくりの拠点となる保健福祉センターの建設計画を検討しています。	新市になった場合、新市の健康づくりの拠点としては、米子市福祉保健総合センター（ふれあいの里）がすでに整備されており、無駄な投資となりかねないため掲載していません。今後は、検診場所の確保等の対策を講じていきたいと考えています。	
生涯学習の推進	淀江中央公民館改築事業	各種生涯学習に関する情報提供と多様な人材の登録や活用、また、さまざまな相談に応じることのできる体制など、社会教育的機能の充実した施設として淀江中央公民館の建替えも含め、施設や設備の整備を進めていきます。	米子市内の地区公民館は、淀江中央公民館に比べ規模が小さいことから、地区公民館としての改築は困難と考えられます。今後は、適正な維持管理を徹底していきたいと考えていますが、最終的には地区公民館としての建替えを実施することにしなければなりません。	

分 類	事 業 名	事 業 概 要	今 後 の 対 応	備考
生涯学習の推進	町立図書館の検討	各地区公民館にある図書機能とは別に、町民の読書ニーズや町内にある各種資料の保存活用の両面から、町文化センター隣接地で町立図書館の建設を検討することになっています。	新市には米子市立図書館があり、すでに23万冊の蔵書がありますが、新市建設計画ではこの施設の増改築を計画し、蔵書も30万冊にすることにしており、さらに、文化施設等のネットワークを主要事業として掲げていることから、淀江中央公民館の図書室で検索ができ、移動図書館等のシステムを活用することで、淀江地域にいながら米子市立図書館が利用できることとなります。	
町民総スポーツ運動の推進	町営テニスコート夜間照明施設設置の検討	淀江町運動公園内にあるテニスコートは、ウィークデイの日中は淀江中学校テニス部が活用していますが、夜間の利用ができない状況にあることから、町民の活用を促進するため、照明施設の設置を検討することになっています。	スポーツ施設の整備として、新市まちづくり計画の中に掲載できるようにしたいと考えます。	
歴史的遺産の保存と活用	総合的サイン計画の検討	淀江地域にある歴史的遺産に関する総合的なサイン計画を立案し、その実現を目指すことにしています。	今後、新市全体を対象にして検討していくことにしています。なお、史跡『上淀廃寺跡』、『向山古墳群』及び淀江町歴史民俗資料館等を整備する伯耆古代の丘整備事業では、独自の案内・説明用サインを整備することになっています。	
地場産業の振興	伝統工芸淀江傘の振興	『和傘伝承館』で保存伝承している淀江傘については、3年間の和傘製造技術後継者育成事業が終了したことから、人材を活かしながら生産を拡大し、新たな工芸品づくりを検討していくことにしています。	ソフト面での支援は一応完了しているため、今後は、『淀江傘伝承の会』が自立して活動していけるように支援していく方向で考えています。	

第4次淀江町総合計画と新市まちづくり計画（案）との関係

4次総合基本計画の中で新市まちづくり計画（案）に掲載した主な事業

分類	事業名	事業概要	掲載の仕方	備考
水環境の保全対策	田井の沼名水公園整備事業	名水百選『天の真名井』、因伯の名水『本宮の泉』、淀江町運動公園内の『佐奈咩の泉』に続く名水公園を福井の『田井の沼』に整備し、地域住民が水に親しめる環境づくりを推進するとともに、名水の里としてのシンボル性を高めることとしています。	主要事業として掲載	
	西原海岸階段護岸整備事業	海岸部での親水性を高めるため、西原白浜地区土地区画整理事業予定地北側の海岸部に階段護岸を整備できるように県に対して働き掛けています。	主要事業として掲載	
緑地環境の保全対策	森林資源の保全と里山保全制度の創設	松くい虫被害が著しい宇田川地区の里山について、今後とも、民間と行政が一体となって予防事業を実施することにしてはいますが、地域住民のボランティア活動によりできる限り松から広葉樹への樹種転換を図り、里山環境の保全を図る制度を創設することにしてはいます。	文言で説明	
緑の空間の創出施策	ポケット・パーク整備事業	各地区にある空地等を活用し、地区住民の憩いの場となるポケット・パークを整備する。整備については、地区住民のボランティアとし、整備後の維持管理費の一部を行政が助成するシステムとすることにしてはいます。	文言で説明	
	生垣奨励制度の創設	隣地との境界に町の木『もくせい』などで生垣をつくることや、現在はブロック塀となっているものを生垣に転換していくなど、一定の基準で助成していく制度を創設し、地域内の緑化を推進することにしてはいます。	文言で説明	
快適な住宅や住環境の確保対策	西原白浜地区土地区画整理事業（まちづくり交付金事業）	西原白浜地区土地区画整理事業を実施し、淀江地域の新たな中心市街地を形成し、支所等の公共施設とともに東の賑わい拠点を目指すことにしてはいます。	主要事業として掲載	
	町営住宅建設（建替え）事業	現在の淀江地域の公営住宅（大垣団地、白浜団地）は、耐用年数を経過し老朽化が著しいことから、早急に建替えることにしてはいます。	主要事業として掲載	
土地利用の明確化	地籍調査事業	地籍調査事業は、一筆ごとの土地について、その所有者、地番及び地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その結果を地籍図及び地籍簿としてまとめ、人間の戸籍に相当するものを作成するもので、引続き実施することにしてはいます。	主要事業として掲載	
都市基盤施設の整備	3・5・2 淀江環状線整備事業	淀江地区内の道路ネットワークを確立するため、淀江保育園東側から北に向かって、一般県道淀江インター線までの区間を整備することにしてはいます。	主要事業として掲載	
	3・5・3 淀江北線整備事業	淀江地区の中央部を東西にネットワークするため、一般国道9号から3・5・2 淀江環状線までの区間を整備することにしてはいます。	主要事業として掲載	

	事業名	事業概要	掲載の仕方	備考
都市基盤施設の整備	一般県道坊領淀江停車場線（3・5・2 淀江環状線）の整備	淀江都市計画道路3・5・2 淀江環状線のうち、淀江地域内の道路ネットワークを確立するため、一般県道淀江停車場線から一般国道9号までの区間を、一般県道坊領淀江停車場線の振り替えて整備できるよう県に働き掛けていくことにしています。	主要事業として掲載	
	一般国道9号（3・4・1 今津佐陀線）の整備	米子市と淀江町の主要ネットワークは一般国道9号であり、特に、淀江地域での整備の遅れが大きな障害となっているため、主要交差点での右折レーンの確保など積極的な整備を国に働き掛けていくことにしています。	文言で説明	
	地域高規格道路（山陰道1・3・1 淀江米子線、1・3・2 東伯淀江線）の整備	山陰自動車道については、淀江大山ICまでの区間が片側1車線で供用開始されていますが、引続き片側2車線での整備並びに淀江大山IC以東の整備を国に対して積極的に働き掛けていくことにしています。 また、山陰自動車道を無料化する方策について検討を始めることにしています。	文言で説明	
都市基盤施設の整備	淀江（近隣）公園整備事業	人口の密集地である淀江地区の東側に、地域住民の憩いと安らぎの空間となる約2ha規模の淀江（近隣）公園を整備することにしています。	主要事業として掲載	
	西原白浜北（街区）公園整備事業	西原白浜地区土地区画整理事業地内に用地を確保し、地域住民が歩いていける身近な公園として整備することにしています。特に、海浜部との一体性の確保を考慮し、土地区画整理事業予定地北側での用地確保を目指しています。	主要事業として掲載	
上水道の整備	第8期上水道拡張事業	第8期上水道拡張計画は、簡易水道の上水道への統合、水源開発、水道施設の改良整備、配水管の拡張及び老朽配水管の布設替え等により、給水人口11,000人、1日最大給水量6,000m ³ として給水の安全性及び経営の効率化を図ることにしています。	主要事業として掲載	
下水道の整備	公共下水道整備事業	公共用水域の水質保全と生活環境整備の観点から、淀江地域の公共下水道の整備を引続き実施することにしています。	主要事業として掲載	
道路、橋梁の整備	町道西原佐陀線道路改良事業	一般国道9号のバイパス的な機能を果たしている町道西原佐陀線は、全区間約2,700mのうち93.0mの区間が未改良区間となっており、早期に全線2車線の道路として供用開始できるよう事業実施していくことにしています。	主要事業として掲載	
	町道淀江中西尾線道路改良事業	淀江地区と宇田川地区を結ぶ南北軸の主要ネットワークとなる路線で、淀江駅や淀江町保健と福祉の里基本構想に基づく整備ゾーン等と宇田川地区各集落拠点施設等とのアクセス機能の向上を目指すために整備することにしています。	主要事業として掲載	
	町道稲吉福頼線道路改良事業	宇田川地区と大和地区を結ぶ東西軸となる路線で、宇田川地区各集落拠点施設等や天の真名井から大和地区へ、さらに、米子市へのアクセス機能、特に、富繁や福平集落の迂回路としての機能の向上を目指すために整備することにしています。	主要事業として掲載	

分類	事業名	事業概要	掲載の仕方	備考
道路、橋梁の整備	町道中間小波上線道路改良事業	宇田川地区と大和地区を結ぶ東西軸の主要ネットワークとなる路線で、宇田川地区各集落拠点施設等や天の真名井から大和地域へ、さらに、米子市へのアクセス機能の向上を目指すために整備することとしています。	主要事業として掲載	
	町道亀甲海岸通線道路改良事業	一般国道9号と町道西原佐陀線は、米子市へのアクセス機能を向上させていますが、相互の連絡機能が弱く、主要地方道淀江岸本線と一般国道9号交差点から北側に延長し、町道西原佐陀線と連結するよう整備することとしています。	主要事業として掲載	
	一般県道赤松淀江線の整備	町役場付近の一般国道9号から宇田川地区の主な施設への進入路となっている路線で、継続中の一般国道9号から町道淀江西原線までの区間の整備並びに本宮地内の視距改良を実施できるよう県に働き掛けていくこととしています。	主要事業として掲載	
	一般県道尾高淀江線の整備	町域の南側の主要地方道米子大山線から淀江地域への主要進入路となっているこの路線は、視距や法線の改良を実施するとともに、現在の西尾原から福井地内への到達点の変更を計画しており、その整備を県に働き掛けていくこととしています。	主要事業として掲載	
交通輸送体系の整備	淀江町内巡回バス運行事業	淀江地域の巡回バスである『どんぐりコロコロ』について、現在の運行経路を確保するとともに、大淀会からさらにジャスコや山陰労災病院までその運行経路拡大を目指し、米子市中心部とのネットワークの拡大を図ることとしています。	主要事業として掲載	
情報通信網の整備	ケーブルテレビ整備事業	新市の区域のうち、米子市地域は中海テレビ放送(CATV)が整備されていますが、淀江地域では未整備の状況であり、新市においてテレトピア計画の見直しを実施することで淀江地域を編入し、中海テレビを整備することとしています。	主要事業として掲載	
高齢者福祉対策	町保健と福祉の里基本構想の推進	淀江町が整備した老人福祉センターやデイサービスセンター、さらに、民間が整備した特別養護老人ホームやケアハウス、温浴施設のほか、整備予定のケア付住宅、共同住宅、スポーツ広場等の整備を進め、ノーマライゼーションの実現を目指すこととしています。	主要事業として掲載	
学校教育の充実	淀江小学校体育館改築事業	淀江小学校体育館は、平成18年度をもって35年の耐用年数を経過する老朽施設であるとともに、平成10年に起こった『鳥取県西部地震』の影響を大きく受けていることから、耐震調査を実施した後、早急な改築を実施することとしています。	主要事業として掲載	
	淀江小学校プール(町民プール)改修事業	淀江小学校にあるプールは、従来、町民プールとして整備したもので、昭和45年の建設から34年を経過し施設の老朽化が著しい状況であることから、早急に改築することとしています。	主要事業として掲載	
生涯学習の推進	大和公民館改築事業	昭和48年度に建築した大和公民館は、老朽化とともに部屋数等施設規模も不十分なものとなっているため、地域コミュニティの拠点施設として機能する適正な規模の施設整備を実施することとしています。	主要事業として掲載	

分類	事業名	事業概要	掲載の仕方	備考
歴史的遺産の保存と活用	伯耆古代の丘整備事業	淀江町福岡地区は、性格の異なる国史跡が3件集中する特殊な地区であり、新市において住民の誇りとなり、文化・観光面で中心的な役割を担うと考えられることから、その目的を達成するために必要な環境整備を行うことにしています。	主要事業として掲載	
農業の振興	県営畑地帯総合整備事業	畑地かんがいを整備し、農業作業の省力化、計画的作付け、高品質化及び輸送の合理化を推進し、効率的経営を確立しながら、地域の活性化に寄与することにしています。	主要事業として掲載	
	基盤整備促進事業	既設暗渠排水施設の老朽化による目詰まりや強湿田による排水不良が生じている水田の整備を実施することにしています。	主要事業として掲載	
	農業公社の設立と農業後継者の育成	農業公社を設立することで、遊休農用地の有効活用や壺瓶山ランドカルチャーパーク構想の中で計画している市民農園の管理運営など、魅力ある農業経営を推進し、農業後継者の育成を図ることにしています。	文言で説明	
	壺瓶山ランドカルチャーパーク構想の推進	壺瓶山は、風・水・土・農業・星空などの自然体験ができる広場としての整備を目標としています。平成15年4月からは、江府町の下蚊屋ダムからの水も供給されるようになったことから、今後、市民農園などを整備し、この構想の具体化を目指すことにしています。	主要事業として掲載	
	淀江地区農免農道整備事業	稲吉地区大蓋原梨園や国営パイロット事業による大成団地などの農用地の有効活用と生産性の向上を目指して、稲吉集落から本宮集落まで農免農道を整備することにしています。	主要事業として掲載	
	大蓋原梨園・大成団地の観光農園化の推進	淀江地区農免農道の沿線にある大蓋原梨園や大成団地などの樹園地では、梨・キーウィ・桃・りんご・プルーン等のもぎ取り園を目指して、観光農園化を推進することにしています。	主要事業として掲載	
水産業の振興	栽培漁業の推進と高付加価値水産物の販売促進	海苔の栽培のほか、中間育成施設を活用したひらめや車えびなどの栽培漁業を推進するとともに、水産物（ワカメ等）の加工品化など、高付加価値水産物の販売を促進することにしています。	主要事業として掲載	
	淀江遊魚センターの整備	海岸部での親水性を高めるため、今津妻木川河口から北側に向けた海岸部の浅瀬を活用し、魚介類と遊び、採取できる淀江遊魚センターを整備することにしています。	主要事業として掲載	
水と緑と史跡の活用	水と緑と史跡を活かした淀江地域振興プロジェクト	淀江地域のまちづくりの基本理念である『水と緑と史跡のふるさと公園都市』を実現するため、水（名水、海浜、河川等）や緑（壺瓶山、里山、農用地、樹園地等）さらに史跡（妻木晩田遺跡、上淀廃寺跡、向山古墳群等）のそれぞれの拠点施設を整備し、ネットワークしていくことにしています。また、最終的には、淀江地域を訪れる人たちをそれらの施設に誘導していくためのガイダンス施設を、水産振興とあわせた形で一般国道9号沿いに整備することにしています。	主要事業として掲載	
	特産品の振興	（株）白鳳の『物産館白鳳の里』や『淀江ゆめ温泉』、本宮観光農事組合の『淀江どんぐり村』などの施設で、どんぐりを中心とした特産品の開発を支援することにしています。	主要事業として掲載	

4次総にない事業（施策）で新市まちづくり計画（案）に掲載した主な事業

分類	事業名	事業概要	掲載の仕方	備考
	幹線道路網整備の検討	両市町の特徴的な要素である宿泊拠点と観光・歴史資源を有機的にネットワークしていく幹線道路網の検討を始めることにしています。	文言で説明	
	まちづくり基本条例の制定	『まちづくりの主役は市民』という住民自治の原点を条例化し、行政の役割を明確にしておくことで、将来にわたる住民自治の実行を担保するものです。まちづくりのための基本的事項として、『情報の共有化』と『住民参画』などさまざまな理念とともに、市民の権利や責務を定めようとするものです。	文言で説明	
	地域自治制度の創設	新市の各小学校区を単位としてコミュニティセンターを配置し、その運営については、地域住民の中から所定の方法によって選出された『代表』による合議制の組織に委ねることで、住民が地域活動に直接参加し、地域を自立的に運営していく力を育てようとするものです。	文言で説明	

4次総にない事業（施策）で新市まちづくり計画（案）に掲載しなかった主な事業

分類	事業名	事業概要	今後の方針	備考
	淀江産業技術高校跡地の有効活用	県立淀江産業技術高校の跡地利用は、昼夜3部性の定時制・通信制独立高校、農業体験教育施設、福祉活動施設、市民農園、文化財の調査・研究・展示・収蔵・体験施設など、多目的利用施設としての活用を目指すことにしています。	水と緑と史跡を活かした淀江地域振興プロジェクトにおいても重要な意味を持つ内容であり、積極的に県に働き掛けていきたいと考えます。	
	佐陀新田地区及び米子市二本木地区の宅地化の推進	佐陀新田地区は、集落整備事業完了後10年を経過したため、民間の宅地開発を推進していますが、同事業で整備した米子市二本木地区は、市街化調整区域であり、線引きの見直しを実施することで、佐陀新田地区同様に宅地化を推進すべきと考えています。	米子市二本木地区の住民からも要望が出されており、佐陀地区の住民意向とも合わせ、都市計画の線引きの見直し時に実現を目指したいと考えます。	
	町道福岡本宮線道路改良事業	広域農道から本宮集落への連絡町道及び因伯の名水『本宮の泉』への進入ルートとして利用されていますが、新市の観光を考えると、淀江地域の名水環境が一つの大きな核となり得ることから、視距及び幅員の改良を実施することにしています。	水と緑と史跡を活かした淀江地域振興プロジェクトにおいて、水の拠点施設へのアクセス強化の観点から実現化を目指していきます。	

分 類	事 業 名	事 業 概 要	今 後 の 方 針	備 考
	交通安全施設（自歩道）整備事業	町道稲吉福頼線（L = 1.3 km）と町道西原亀甲線（L = 1.9 km）は、交通安全施設整備事業の指定区間となっており、自歩道の整備により歩行者と自転車利用者の安全を確保していくことにします。	新市のネットワーク（サイクリングロード等）を検討しながら、実現化を目指していきたいと考えています。	
	町道橋梁の架け替え及び修繕事業	詳細調査や補修、補強の必要な橋梁が15箇所ありますが、そのうち特に、架け替えを含めた検討が必要な橋梁3箇所（町道今津本線今津橋、町道淀江西原線淀江大橋、町道海岸通線御大師川橋）があり、早急に整備することになっています。	地域住民の安全を確保する観点から、緊急を要する事業として少しでも早い実現化を目指していきます。	
	淀江地区地域水産物供給基盤整備事業	地域水産物の供給基盤である淀江漁港内の水質浄化を図ることにしています。	水と緑と史跡を活かした淀江地域振興プロジェクトにおいて、水環境の保全施策の一環として実現化を目指していきます。	
	地域産業プラットフォームの形成	産業振興は、商品開発と新市場の開拓が両輪であるといえます。産学官のほかあらゆる主体が連携し、総合的な支援を行う新たなプラットフォームが必要で、このプラットフォームを活用し、新市の『地域ブランド』を創り出すことが必要になっています。	今後、新市の総合計画に反映できるよう検討していきます。	
	天の真名井水車小屋整備事業	名水百選『天の真名井』周辺は、過去に2度の補助事業を活用して親水空間の整備を実施してきましたが、茅葺で整備している水車小屋の屋根が老朽化しており、今回の整備では屋根の補修を実施することになっています。	水と緑と史跡を活かした淀江地域振興プロジェクトにおいて、水の拠点施設の整備の一環として実現化を目指していきます。	